※データの無断転載はお断りします

2013 年 2 月 13 日

第 48 回学生生活実態調査　概要報告

全国大学生活協同組合連合会

本日の報告内容
1．学生の経済状況
2．就職について
3．大学生の勉強時間

はじめに　調査概要とサンプル特性について

＜調査概要＞

調査実施時期　2012 年 10～11 月

対象　全国の国公立および私立大学の学部学生

回収数　8,609（回収率 29.2%）

＜サンプル特性＞（表 1）

1）第 48 回学生生活実態調査は 78 大学生協が参加、18,948 名から協力を得た。ただしここで紹介する数値は、経年での変化をより正確に見るために、毎年指定している 30 大学生協で回収した 8,609 名の平均値である。

2）全体的に昨年の構成比と比べ、大きな差異がなく、経年での比較にも耐え得る調査である。

3）今回に限ったことではないが、専攻別の男女の構成比は、文科系 4.5：5.5、理科系 7.5：2.5、医歯薬系 3.9：6.1 となっており、文科系と医歯薬系の特徴は女子の影響を受けやすく、反対に理科系の特徴は男子の特徴を受けやすくなっている。

【表 1】　サンプル特性

大学設置者別　（人・%）

	12実数	12構成比	11構成比
国公立	5,182	60.2	59.1
私立	3,427	39.8	40.9
総計	8,609	100.0	100.0

性別　（人・%）

性別	12実数	12構成比	11構成比
男子	4,840	56.2	56.1
女子	3,769	43.8	43.9
総計	8,609	100.0	100.0

学部別　（人・%）

学部	12実数	12構成比	11構成比
文科系	4,099	47.6	46.8
理科系	3,417	39.7	40.6
医歯薬系	1,093	12.7	12.6
総計	8,609	100.0	100.0

学年別　（人・%）

学年	12実数	12構成比	11構成比
１年	2,584	30.0	31.7
２年	2,109	24.5	24.6
３年	1,928	22.4	21.6
４年	1,988	23.1	22.1
総計	8,609	100.0	100.0

住居形態　（人・%）

住居形態	12実数	12構成比	11構成比
自宅	4,126	47.9	45.2
下宿	4,256	49.4	52.0
アパート	2,419	28.1	33.8
マンション	1,549	18.0	14.8
下宿(Kなし)	20	0.2	0.2
学生会館	111	1.3	0.7
親保有	15	0.2	0.3
不明	62	0.7	0.8
食事付下宿	80	0.9	1.2
寮	227	2.6	2.8
総計	8,609	100.0	100.0

1. 学生の経済状況

厳しい経済状況が固定化し、奨学金も減少。収入増はアルバイトに頼る
しかし暮らし向きは「楽」が大幅増加、今後の見通しも好転

(1)自宅生の生活費(表 2)

アルバイト収入は増加。奨学金の減少により、収入合計は 6 年連続減少

【表2】1ヶ月の生活費(自宅生) (円)

	12年	前年比					
		07年	08年	09年	10年	11年	12年
小遣い	14,670	-2,010	580	-230	-370	-480	-400
奨学金	11,790	-30	780	-250	760	420	-600
アルバイト	30,030	360	-1,100	-2,020	-1,130	-190	530
定職	260	-60	-60	-250	180	-60	-10
その他	1,630	510	-620	160	-570	-40	40
収入合計	58,360	-1,220	-430	-2,600	-1,130	-340	-470
食費	10,980	-660	200	-500	20	-90	60
住居費	200	260	-200	-110	30	50	-10
交通費	9,250	-150	-470	190	110	-300	-210
教養娯楽費	7,150	-470	-260	-330	-260	-240	310
書籍費	1,800	-180	80	-220	90	-240	-50
勉学費	1,170	-170	-120	-20	10	-80	-10
日常費	4,900	-630	-660	-770	-510	10	-430
電話代	2,990	-290	-380	-60	-120	40	-310
その他	1,490	150	100	-670	-160	-500	-190
貯金・繰越	16,110	2,360	2,700	-210	1,400	450	-110
支出合計	56,040	200	990	-2,710	620	-900	-950

【表3】1ヶ月の生活費(下宿生) (円)

	12年	前年比					
		07年	08年	09年	10年	11年	12年
仕送り	69,610	-2,980	-2,350	-3,520	-2,750	-1,530	-170
奨学金	25,380	1,240	600	2,100	310	-1,390	30
アルバイト	23,100	3,360	-2,180	-2,230	-470	-360	1,560
定職	500	150	-400	50	60	-250	320
その他	2,050	850	-970	260	-90	-190	10
収入合計	120,640	2,680	-5,370	-3,310	-2,970	-3,710	1,740
食費	22,900	20	-680	-1,080	160	-920	310
住居費	53,420	200	-1,400	940	-1,020	-1,620	400
交通費	3,260	470	-250	-260	60	-100	110
教養娯楽費	8,200	-320	-360	-370	-170	200	-260
書籍費	2,030	-50	-110	-40	-120	-180	-40
勉学費	1,570	-100	-220	-60	20	20	30
日常費	6,640	-920	-190	-840	-630	110	30
電話代	4,620	-450	-320	-260	0	-110	-100
その他	2,220	510	-400	-210	-480	-240	-90
貯金・繰越	10,710	40	2,410	-1,780	-20	-170	420
支出合計	115,570	-620	-1,520	-3,950	-2,200	-3,010	810

① 自宅生の収入合計は 58,360 円で前年比－470 円。「アルバイト」収入は 30,030 円(前年比＋530 円）で、5 年ぶりに増加。1 年生＋450 円、2 年生＋1,420 円増加し、アルバイトの就労率も 1、2 年生で 3.1 ポイントと 1.2 ポイント増加している。

② 「小遣い」は 14,670 円（前年比－400 円）で、4 年連続減少している。

③ 「奨学金」は 11,790 円で前年比－600 円。3 年生－1,760 円、4 年生－2,350 円と高学年で減少している。4 年生の奨学金受給率は 28.7%で前年から 2.4 ポイント減少、「奨学金をもらう必要性を感じなかった」が前年の 42.2%から 51.7%に大幅増加しており、将来返済すべきリスクについての意識が高まったとも考えられる。

④ 支出合計は 56,040 円（前年比－950 円)。「食費」（同＋60 円)、「教養娯楽費」（同＋310 円）を除いた費目で減少。

⑤ 「貯金・繰越」は 16,110 円で前年比－110 円。「奨学金」が減少しており、自宅生の多くが奨学金を大学納付金のために貯金していることも減少の一因と思われる。

(2)下宿生の生活費(表 3　図 1)

「仕送り」は引き続き減少。「アルバイト」収入増で 5 年ぶりに収入合計は増加

① 下宿生の収入合計は 120,640 円で前年比＋1,740 円。

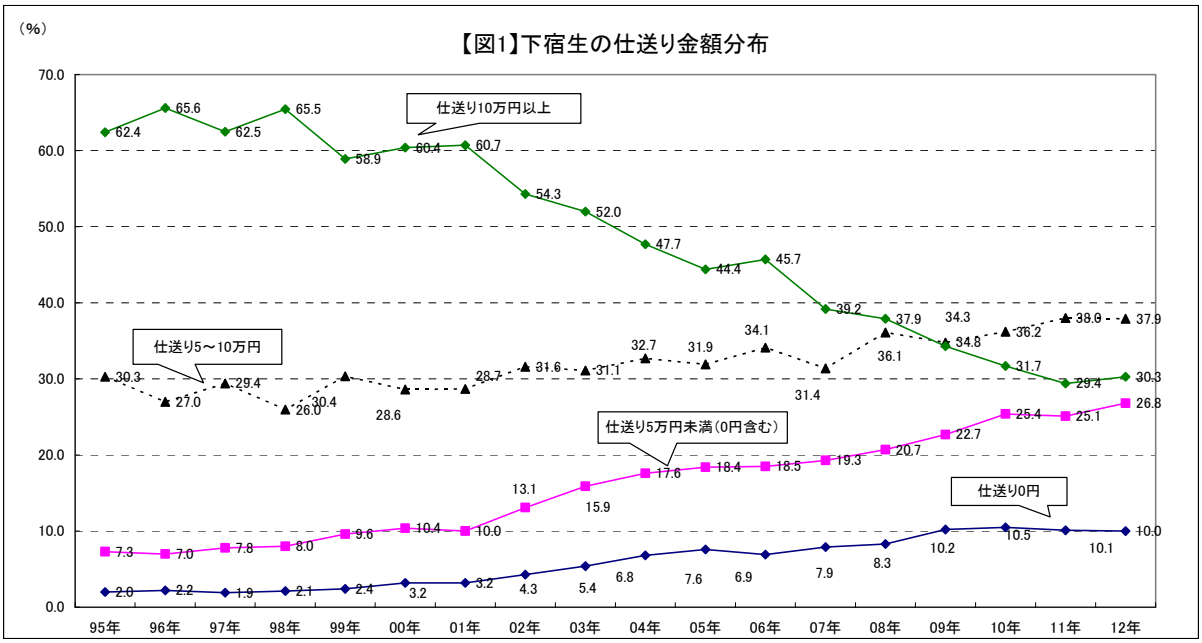
② 「仕送り」は前年比－170 円の 69,610 円で、減少幅はこれまでより小さいものの、6 年連続減少となった。仕送りが「0」の割合も 10.0%で 4 年連続 1 割を超え、「0」を含む 5 万円未満は 25.1%から 26.8%に増加した。

③ 「奨学金」は 25,380 円で＋30 円と前年並みだが、3 年生は－1,310 円と減少が大きい。

④ 「アルバイト代」は＋1,560 円の 23,100 円。1 年生＋960 円、2 年生＋4,400 円、3 年生－480 円、4 年生＋1,140 円。アルバイトの就労率も 1 年生 47.9%（2.8 ポイント増)、2 年生 68.0%（3.5 ポイント増）と増加し、収入合計も 4,370 円と 2,690 円増加している。

⑤ 支出合計は 115,570 円で前年比＋810 円。「食費」22,900 円（前年比＋310 円)、「住居費」53,420 円（同＋400 円)、「貯金・繰越」10,710 円（同＋420 円）などが増加している。

⑥ 「食費」は前年比では増加したが、引き続き 1976 年（22,970 円）並みの金額。1 年生と 2 年生は食費での増加（それぞれ 700 円と 770 円）を始め、支出合計も＋3,830 円と＋1,940 円と大きく増加した。



(3)奨学金の受給(表 4･5)

自宅生は受給率、受給平均額ともに前年から減少

① 受給率は 37.2%（自宅生 29.5%・下宿生 43.6%）で、09 年 37.2%（自宅生 27.5%・下宿生 44.6%）→10 年 37.3%（自宅生 27.8%・下宿生 44.4%）→11 年 37.9%（自宅生 29.9%・下宿生 43.4%）と推移。11 年は自宅生のうち 1 年生が前年比 5.4 ポイント増と大きく増加したが、12 年は 1.3 ポイント減となった。

② 自宅生は受給している学生の平均受給額も 55,880 円から 54,460 円に減少。1、2 年生はそれぞれ 2,020 円と 1,230 円増加しているが、3、4 年生は 6,580 円と 4,290 円と減少額が大きい。

【表4】奨学金受給率 (%)

	自宅生				下宿生				合計			
	09年	10年	11年	12年	09年	10年	11年	12年	09年	10年	11年	12年
1年	26.2	26.3	31.7	30.4	44.1	42.3	44.7	43.9	36.5	35.4	39.3	37.7
2年	28.7	27.7	27.5	31.0	46.1	47.8	41.4	44.2	38.7	39.1	35.8	38.1
3年	27.4	27.9	28.5	27.7	44.7	44.8	42.3	42.3	37.1	37.7	37.2	35.8
4年	28.0	29.9	31.1	28.7	42.9	42.9	44.7	43.9	36.2	37.3	39.2	36.8
計	27.5	27.8	29.9	29.5	44.6	44.4	43.4	43.6	37.2	37.3	37.9	37.2

【表5】奨学金平均受給額 (円)

	自宅生				下宿生				合計			
	09年	10年	11年	12年	09年	10年	11年	12年	09年	10年	11年	12年
1年	56,290	57,350	54,960	56,980	62,400	60,090	58,020	60,090	60,740	59,610	57,410	59,140
2年	56,050	57,490	53,310	54,540	62,100	62,090	59,880	58,660	60,730	60,710	58,220	57,380
3年	55,720	55,200	60,080	53,500	60,420	60,820	60,890	60,200	59,450	59,230	60,880	58,210
4年	56,920	55,690	56,130	51,840	64,030	60,340	63,510	63,620	61,710	58,930	61,670	59,790
計	56,250	56,520	55,880	54,460	62,180	60,870	60,430	60,640	60,650	59,670	59,360	58,660

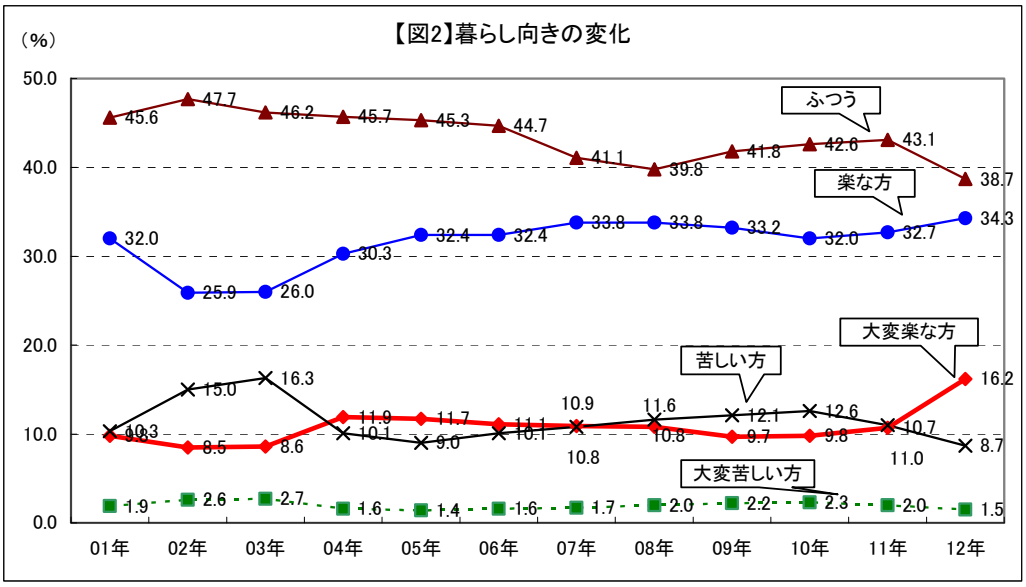
(4)暮らし向きに対する意識(図 2　表 6)

「大変楽な方」「楽な方」が増加、今後の生活も「苦しくなる」は減少
アルバイト収入増や就職状況の好転で経済生活は安定の見通し

① 暮らし向きについて「大変楽な方」＋「楽な方」50.5%、「ふつう」38.7%、「苦しい方」＋「大変苦しい方」10.2%。「ふつう」は前年から 4.4 ポイント減少し、「大変楽な方」が 5.5 ポイント、「楽な方」が 1.6 ポイントそれぞれ増加している。

② 自宅生は「大変楽な方」＋「楽な方」が 53.0%で、前年から＋9.4 ポイントと、特に増加が大きい（下宿生は 4.8 ポイント増)。

③ 今後の見通しについては「かなりよくなりそう」2.7%（前年比＋0.7 ポイント）や「少しよくなりそう」13.7%（前年比－1.5 ポイント）は前年並みだが、「少し苦しくなりそう」18.2%（同－8.6 ポイント）や「かなり苦しくなりそう」3.7%（同－1.7 ポイント）が減少し、「変わらない」が 50.8%（同＋10.1 ポイント）と大幅に増加。現状、今後ともに楽観視する学生が増加した。



【表6】今後の見通し　(%)

	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年
かなりよくなる	1.4	1.0	1.3	1.3	1.5	1.6	1.9	1.7	1.7	1.8	2.0	2.7
少しよくなる	8.3	8.9	9.6	9.3	9.8	12.1	14.0	12.3	13.6	16.0	15.2	13.7
変わらない	54.5	51.4	50.0	57.4	57.3	53.7	49.5	45.4	41.8	40.6	40.7	50.8
少し苦しく	23.0	26.2	27.1	18.7	18.7	20.1	22.2	26.4	27.1	26.0	26.8	18.2
かなり苦しく	5.4	6.1	6.4	3.5	3.5	3.0	4.4	5.8	5.6	5.6	5.4	3.7
わからない	5.5	5.2	4.5	7.6	7.4	7.4	5.0	5.0	6.6	6.9	7.0	7.0
考えたことがない	1.4	1.0	0.8	1.7	1.6	1.9	1.2	1.3	2.5	2.2	2.5	3.3

2.就職について

就職内定者の 4 人に1人は中途退職や転職を考えている
就職率の好転により不安内容にも変化の兆し

(1)就職への不安(図 3　表 7)

就職内定率の上昇。学生の不安は“内定”から“自身の働き方”にシフト

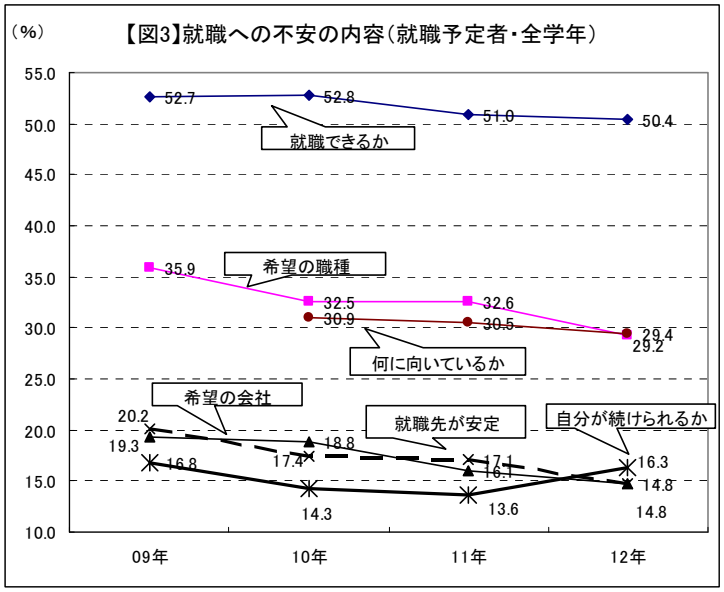
① 就職に不安を「感じている」は全体で 75.3%（昨年比 1.4 ポイント増)、就職予定者を 100 とすると 77.6%で昨年比 1.7 ポイント増となった。

② 就職予定者の不安については「就職ができるか」50.4%（11 年 51.0%)、「自分が何に向いているか」29.4%（11 年 30.5%）の変化は小さく、「希望の職種に就けるか」29.2%（11 年 32.6%）や「就職先が安定しているか」14.8%（11 年 17.1%）は減少。

③ 「自分が仕事を続けられるか」は 11 年の 13.6%から 16.3%に増加傾向。就職予定の 4 年生は 23.4%から 28.5%へと大きく増加しており、特に内定者は 11 年の 25.4%(n＝764)から 34.8%（12 年 n＝793）と不安の拡大が大きい。

④ 就職予定の 4 年生のうち非内定者（11 年 n＝361、12 年 n＝415）の「就職ができるか」といった不安は 11 年の 45.2%に対し 12 年は 46.7%と大きな変化はないが、「希望の会社に入れるか」は 13.9%から 9.4%に減少傾向となった。※“内定者”“非内定者”のデータは 11 年以降。

就職活動を行うにあたっては、就職希望先の範囲を広げることも内定獲得のための定石として定着し、実際に就職率の上昇につながっているとされている。しかしそのことにより、内定後その職場で継続して働くことへの自信や意欲が薄れ、また非内定者にとっては就職先の“希望”自体が縮小する傾向となったのではないか。



【表7】就職への不安（就職予定者・4年生）　(%)

	内定者		非内定者		合計	
	11年	12年	11年	12年	11年	12年
就職できるか	4.6	4.2	45.2	46.7	17.6	18.7
希望の職種に就けるか	4.3	4.0	23.3	21.2	10.3	9.9
希望の会社に入れるか	1.4	1.5	13.9	9.4	5.5	4.2
就職先が安定しているか	7.3	6.4	13.3	12.5	9.3	8.5
自分が仕事を続けられるか	25.4	34.8	19.4	16.4	23.4	28.5
自分が何に向いているか	13.2	13.0	25.8	22.4	17.1	16.1
その他	2.2	2.6	0.8	0.7	1.8	2.1

(2)転職や中途退職について(図 4～7)

内定者の転職や中途退職について考える学生は 26.7%
女子の 1 割以上は「結婚や妊娠を機に退職」を希望

① 卒業後最初の職場について、転職や中途退職を考えている学生は 15.3%。そのうち「具体的に考えている」2.4%、「結婚や妊娠を機に退職」5.2%、「具体的ではないが、したい」7.7%。

② 「転職や中途退職はしたくない」は 44.0%で、男子 46.7%、女子 40.6%と男女差はあるが、学年毎の差は小さい。

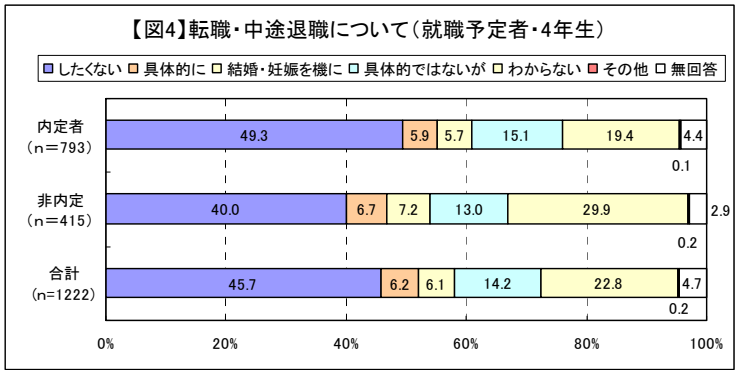
③ また、学年が上がる毎に「具体的に」や「具体的ではないが…」が増加する一方で、「わからない・考えたことがない」(全体 36.8%)は学年が上がると減少しているため、「わからない…」も転職や中途退職を考える“予備軍”として存在しているように見える。

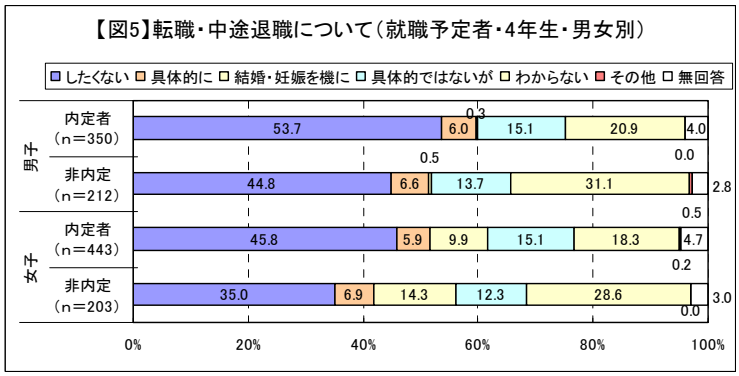
④ 「具体的に」考えている転職・中途退職までの勤続年数は平均 6.2 年。男子が 7.2 年に対して女子が 4.7 年と短い。

⑤ 就職予定の 4 年生のうち就職内定者の 26.7%は、転職や中途退職について考えており、そのうち 5.9%が具体的な年数も考えている。また非内定者も 26.9%がいずれかの時期に転職を考えている。内定、非内定にかかわらず、自身で納得のいく就職や就職活動ができたかによる影響が大きいのではないか。

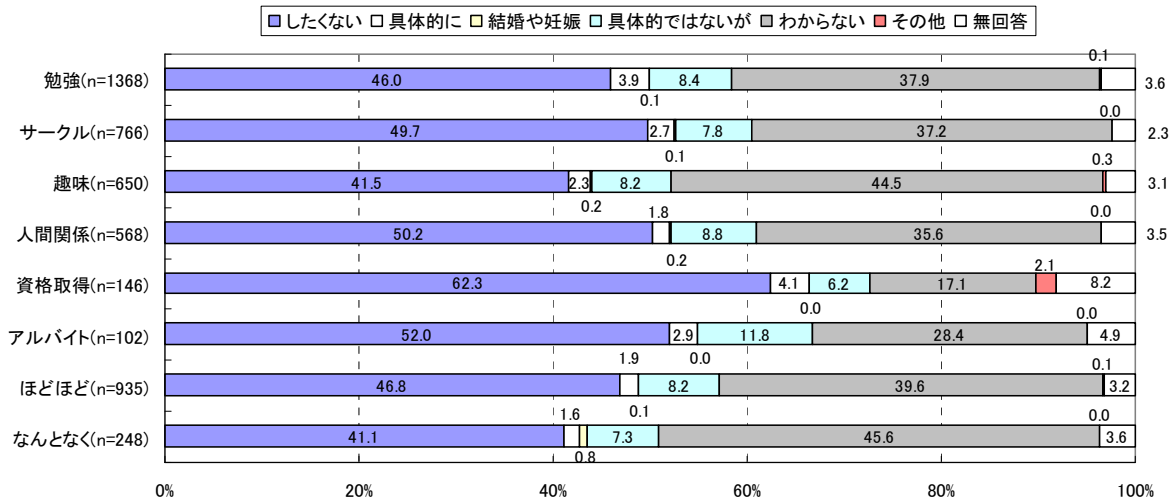
⑥ 大学生活の重点が「資格取得」の学生は、転職や中途退職を「したくない」が 54.5%と多く、特に男子は 62.3%(女子 47.6%)と、この傾向が強い。

⑦ 「結婚や妊娠を機に…」は女子の 11.7%(男子 0.1%)を占めている。この層は大学卒業後に「結婚して家庭を持ちたい」に対して「そう思う」が 85.9%と女子全体の平均 61.7%を大きく上回っており、結婚に対する意識も高い。また、非内定者の女子は「結婚や妊娠を機に…」が 14.3%(内定者 9.9%)と高い傾向にある。

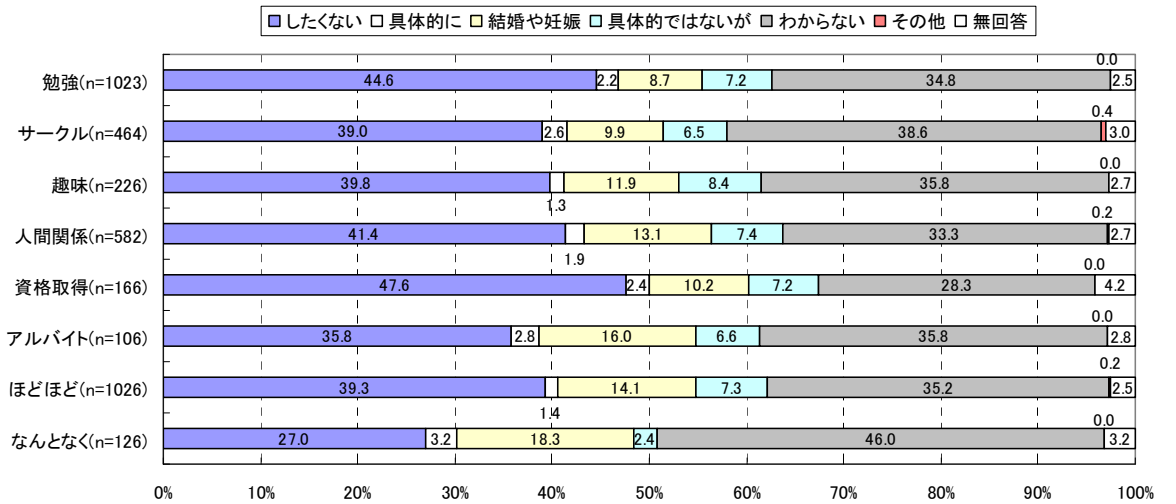




【図6】大学生活の重点と中途退職（男子）



【図7】大学生活の重点と中途退職（女子）



3.大学生の勉強時間

最新の大学生の勉強時間（1 日）は、
文系 28.4 分・理系 48.3 分・医歯薬系 52.1 分
入試形態による自主的な勉強時間の差も見られる

（表 8～11　図 8～10）

＜大学の勉強時間＞	予習・復習・論文など（1 週間単位で調査）
＜大学以外の勉強時間＞	就職に関することや関心事（1 週間単位で調査）
＜授業時間＞	出席コマ数×90 分（平日の 1 日で調査）

＜大学生活の重点＞
1）勉強や研究を第一においた生活（勉強第一）
2）サークル・同好会の活動を第一においた生活（サークル）
3）自分の趣味(車・スポーツ・音楽・パソコンなど)を第一においた生活（趣味）
4）よき友を得たり豊かな人間関係を結ぶことを第一においた生活（人間関係）
5）将来就きたい仕事や就職のために資格取得や大学外の学校に通うことを第一においた生活（資格取得）
6）アルバイトをしたり、お金をためることを第一においた生活（アルバイト）
7）特別に重点をおかず、ほどほどに組み合わせた生活（ほどほど）
8）なんとなく過ぎていく生活（なんとなく）
9）その他

① 1 週間における授業を除く「大学の勉強時間」は平均 4.58 時間（1 日平均 39.2 分）。文系 3.31 時間（同 28.4 分）・理系 5.63 時間（同 48.3 分）・医歯薬 6.08 時間(同 52.1 分）と専攻による差は大きい。

② また、1 年生 3.60 時間（文系 2.83 時間・理系 4.22 時間）・2 年生 3.68 時間（文系 2.80 時間・理系 4.34 時間）・3 年生 4.18 時間（文系 2.96 時間・理系 5.06 時間）・4 年生 7.21 時間（文系 4.98 時間・理系 9.38 時間）と学年が上がる毎に時間は増える。

③ 1 週間の勉強時間が「0」は 1 年生 7.6%(文系 8.7%・理系 6.3%)、2 年生 10.2%（文系 12.0%・理系 9.1%)、3 年生 11.7%（文系 16.0%・理系 7.6%)、4 年生 12.8%（文系 18.2%・理系 8.8%）と、文系は学年が上がるほど勉強時間の「0」が増える。

④ 理系は 4 年生の有額平均時間が 10.31 時間と最も長く、1 年生 4.51 時間、2 年生 4.78 時間、3 年生 5.48 時間と、4 年生で大幅に増える。学内で過ごす授業時間以外の時間が 7.3 時間（全体平均 3.7 時間）と長く、研究室での時間や大学院進学に向けた準備によるものと思われる。

⑤ 就職に関して「就きたい職業や職種のために何かをしている」が 65.6%と 67.8%と多い文系 3 年生と 4 年生は「大学以外の勉強時間」もそれぞれ 4.19 時間と 3.61 時間と長い。就職活動や資格取得のための時間と考えられる。

⑥ 大学入試の形態別に見ると文系、理系ともに推薦入試より一般入試の方が「大学の勉強時間」、「大学以外の勉強時間」ともに長い傾向があり、大学入試の際の学習習慣の違いが自主的な勉強時間に影響しているように見える。

⑦ ただし「大学の勉強時間」が「0」の割合は一般入試 10.3%（文系 13.2%・理系 8.0%・医歯薬 7.8%）に対し、推薦入試 11.1%（文系 13.9%・理系 7.1%・医歯薬 7.0%）と、その差は小さい。

⑧　授業時間を含めた一日の「大学の勉強時間」は平均 4.55 時間で、一般入試 4.55 時間、推薦入試 4.58 時間と入試形態による差は見られない。

⑨　大学生活の重点別にみると、「大学の勉強時間」は、「勉強第一」の 7.45 時間が最も長く、以下「ほどほど」4.20 時間、「人間関係」3.29 時間、「趣味」3.28 時間などが続く。「勉強第一」の理系 4 年生は平均 11.71 時間と長い。

⑩　大学以外の勉強時間は「資格取得」6.0 時間で最も長く、文系の 3、4 年生は 9.67 時間。「勉強第一」も 2.79 時間と次いで長く、文系 3 年生は 5.29 時間となっている。

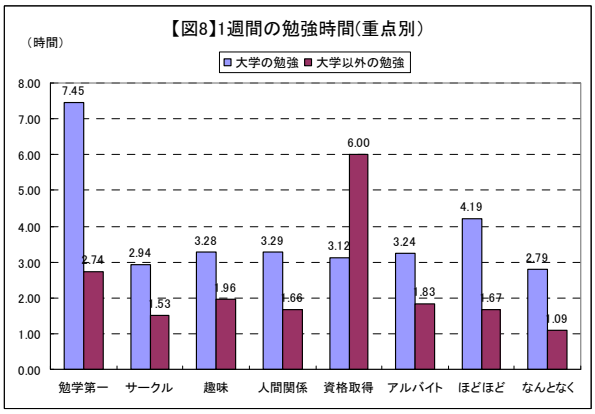
⑪　1 日の読書時間と勉強時間の長さはほぼ比例している。

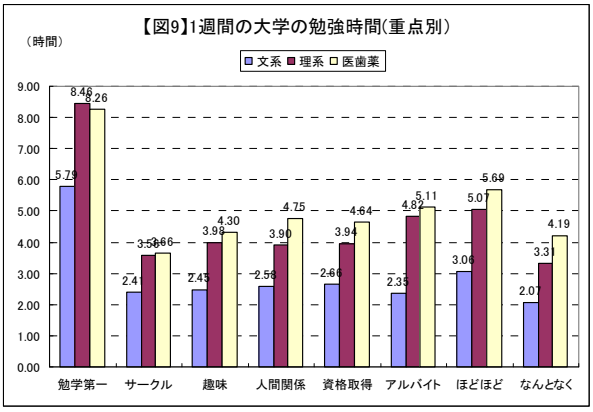
【表8】1週間の勉強時間(入試形態別)　（時間）

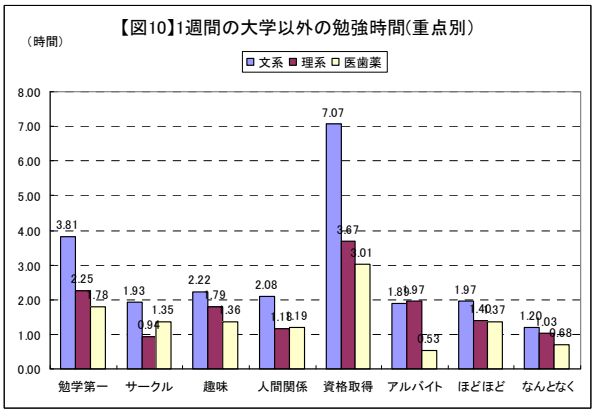
	大学の勉強時間			大学以外の勉強時間		
	一般	推薦	合計	一般	推薦	合計
文系	3.55	2.64	3.31	2.87	1.99	2.64
理系	5.67	5.33	5.63	1.74	1.33	1.68
医歯薬	6.01	6.37	6.08	1.54	1.28	1.51
合計	4.77	3.83	4.58	2.22	1.72	2.12

【表9】1日の授業+
大学の勉強時間（入試形態別）（時間）

	一般	推薦	合計
文系	4.19	4.19	4.20
理系	4.64	4.89	4.68
医歯薬	5.48	5.90	5.54
合計	4.55	4.58	4.55







【表10】1日の読書時間と
大学の勉強時間（1週間）　（時間）

	0分	30分未満	60分未満	60分以上
文系	2.37	2.62	3.42	4.88
理系	4.70	5.06	5.91	7.16
医歯薬	5.61	6.34	5.64	7.17
合計	3.83	4.04	4.62	6.00

【表11】1日の読書時間と
大学以外の勉強時間（1週間）　（時間）

	0分	30分未満	60分未満	60分以上
文系	1.93	2.26	2.28	3.94
理系	1.02	1.34	1.84	2.76
医歯薬	1.01	1.20	1.61	2.71
合計	1.42	1.77	2.04	3.35